

## ■ 日銀から「安上がりの借金」



財務省が7月29日に発表した2021年度の国の決算で思わぬ臨時収入があった。1兆2583億円にのぼる日銀からの納付金だ。当初の想定を3割ほど上回り、税収の2%近くに相当する20年ぶりの大きな額となった。

日銀は毎年度、日銀法53条に基づき納付金を払う。収益から人件費などの経費をさし引いたうえで将来の損失に備えた引当金や税金をのぞいたのが剰余金。剰余金の5%を法定準備金として積み立て、さらに500万円の配当金を支払った残りが納付金となる。

財務省が21年度当初予

## 緩和出口での暗転警戒

算を組んだ時点で想定した9783億円から上振れしたのは日銀の好決算のためだ。金融緩和で大量に保有する国債の利息収入に加え、上場投資信託（ETF）の分配金が増えた。円安の進行により外貨預金や外貨建て資産の価格も円換算で膨らんだ。

巨額の納付金は国と日銀のお金のやりとりをいびつな形にしている。21年度の日銀の実質的な国債利息の受け取りは1兆1233億円。国債の過半を持つ最大の貸主でありながら、国に支払うお金のほうが1350億円も多い。納付金が実質的な利息収入を上回るのは3年連続で、差は年々開いている。国にとっては日銀から極めて安上がりで借金できているように見える。

こうした状況に財政拡張論は勢いづく。自民党の積極財政派の急先鋒（せんぽう）である西田昌司参院議員は「政府が日銀に支払う利払い費の多くは政府の財布に戻っている」と語る。国庫の負担は小さいのだから国債を増発しても問題ないとの主張につながる。

安上がりの借金など永續しないとみる財務省は気をもむ。「金融緩和の出口はいずれくる。そのときにはすべてが逆回転する」。緩和の出口で日銀が民間銀行などから預かる当座預金の金利が上がったり、円高で外貨建て資産が円換算で値下がりしたりすれば、日銀の損益は赤字になりかねない。赤字なら納付金はなくなる。

過去20年をふり返ると金融政策や為替の変動

で納付金は浮き沈みしてきた。最も少ない10年度は443億円まで減った。国債金利の上昇や日銀の買い入れ縮小が現実になれば納付金をもらえないどころの騒ぎではなくなる。新型コロナウイルス感染症対策のための短期債の大増発が響き、借換債の発行は年150兆円を超える。借り換えのたびに金利負担が増す。安定消化に向けて日銀にかわる受け皿を探さなければならない。

23年4月に異次元緩和を主導してきた黒田東彦・日銀総裁の任期が満了する。市場が次の総裁に緩和修正のにおいを感じ取れば逆回転が始まる。借金が高つくことを認識する時はそう遠くないかもしれない。

（江刈智弘）

財務省が7月29日に発表した2021年度の国の決算で思わぬ臨時収入があった。1兆2583億円にのぼる日銀からの納付金だ。

当初の想定を3割ほど上回り、税収の2%近くに相当する20年ぶりの大きな額となった。

日銀は毎年度、日銀法 53 条に基づき納付金を払う。収益から人件費などの経費をさし引いたうえで将来の損失に備えた引当金や税金をのぞいたのが剰余金。剰余金の 5%を法定準備金として積みたて、さらに 500 万円の配当金を支払った残りが納付金となる。

財務省が 21 年度当初予算を組んだ時点で想定した 9783 億円から上振れしたのは日銀の好決算のためだ。金融緩和で大量に保有する国債の利息収入に加え、上場投資信託(ETF)の分配金が増えた。円安の進行により外貨預金や外貨建て資産の価格も円換算で膨らんだ。

巨額の納付金は国と日銀のお金のやりとりをいびつな形にしている。

21 年度の日銀の実質的な国債利息の受け取りは 1 兆 1233 億円。国債の過半を持つ最大の貸主でありながら、国に支払うお金のほうが 1350 億円も多い。納付金の実質的な利息収入を上回るのは 3 年連続で、差は年々開いている。国にとっては日銀から極めて安上がりで借金できているようにみえる。

こうした状況に財政拡張論は勢いづく。自民党の積極財政派の急先鋒(せんぼう)である西田昌司氏は「政府が日銀に支払う利払い費の多くは政府の財布に戻ってくる」と語る。国庫の負担は小さいのだから国債を増発しても問題ないとの主張につながる。

安上がりの借金など持続しないとみる財務省は気をもむ。

「金融緩和の出口はいずれくる。そのときにはすべてが逆回転する」。緩和の出口で日銀が民間銀行などから預かる当座預金の金利が上がったり、円高で外貨建て資産が円換算で値下がりしたりすれば、日銀の損益は赤字になりかねない。赤字なら納付金はなくなる。

過去 20 年をふり返ると金融政策や為替の変動で納付金は浮き沈みしてきた。最も少ない 10 年度は 443 億円まで減った。

国債金利の上昇や日銀の買い入れ縮小が現実になれば納付金をもらえないどころの騒ぎではなくなる。新型コロナウイルス感染症対策のための短期債の大増発が響き、借換債の発行は年 150 兆円を超える。借り換えのたびに金利負担が増す。安定消化に向けて日銀にかわる受け皿を探す必要がある。

23 年 4 月に異次元緩和を主導してきた黒田東彦・日銀総裁の任期が満了する。市場が次の総裁に緩和修正のにおいを感じ取れば逆回転が始まる。借金が高づくことを認識する時はそう遠くないかもしれない。

政府・日銀の財務諸表

政府BSの概要				日銀BS			
				営業毎旬報告(平成29年11月30日現在)			
(単位:兆円)				(単位:百万円)			
資産の部		負債の部		資産		負債及び純資産	
現金・預金	52	未払金等	12	金地金	441,253	発行銀行券	101,973,485
有価証券	125	政府短期証券	86	現金	232,589	当座預金	364,794,120
未収金等	11	公債	918	国債	443,571,546	その他預金	17,804,940
前払費用	3	借入金	30	コマーシャル・ペーパー	2,178,124	政府預金	27,606,708
貸付金	116	預託金	6	社債	3,222,062	売現先勘定	46,824
運用寄託金	107	責任準備金	10	金銭の信託		雑勘定	1,552,419
貸倒引当金	△ 2	公的年金預り金	116	(信託財産株式)	1,069,604	引当金勘定	4,860,928
有形固定資産	181	退職給付引当金等	8	金銭の信託		資本金	100
無形固定資産	0	その他の負債	9	(信託財産指数)		準備金	3,184,433
出資金	72	負債合計	1,193	連動型上場			
その他資産	8	資産・負債差額の部		投資信託)	16,618,872		
		資産・負債差額	△ 521	金銭の信託			
資産合計	672	負債及び資産・		(信託財産不動産)			
		負債差額 合計	672	信託投資)	444,100		
				貸付金	46,650,588		
				外国為替	6,708,938		
				代理店勘定	13,702		
				雑勘定	708,360		
				合計	521,860,012		521,860,012

  

国	会社
一般会計	→ 事業部決算
一般会計+特別会計	→ 単体決算
連結会計(日銀を除く)	→ 連結決算(一部子会社を除く 不完全なもの)